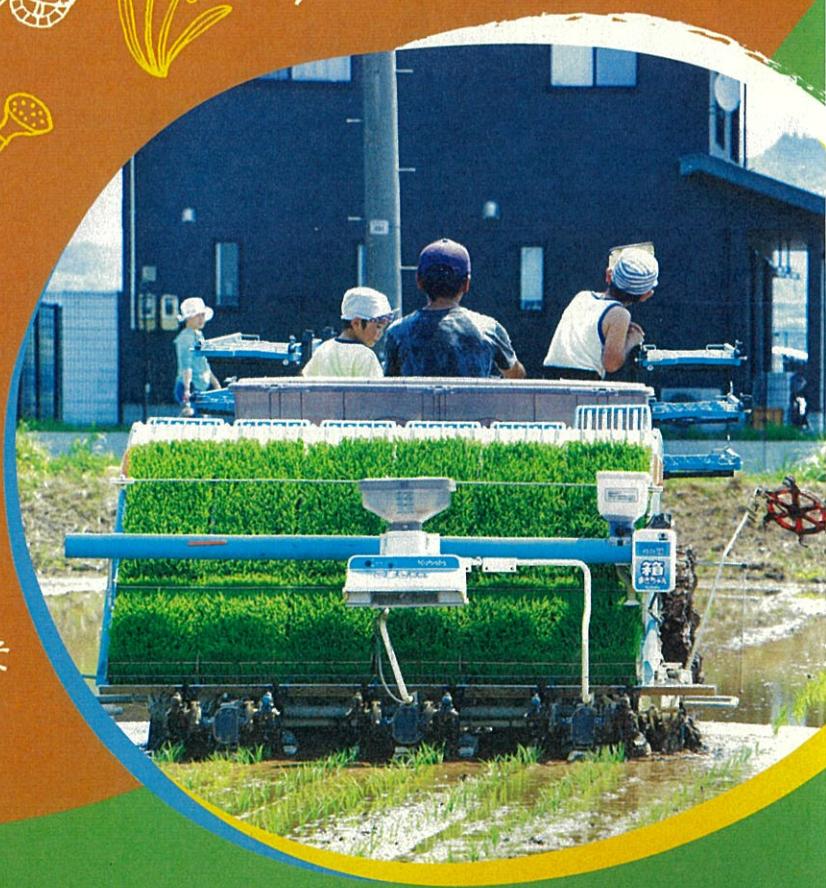
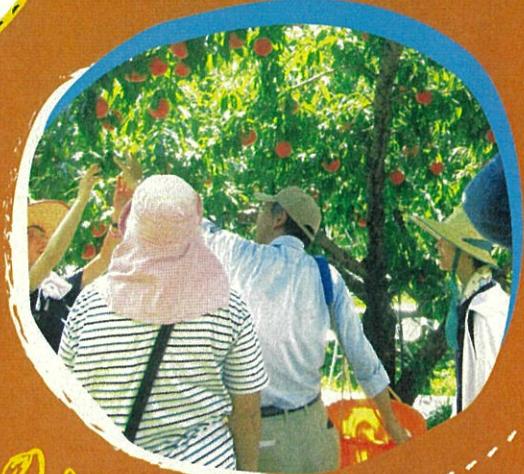
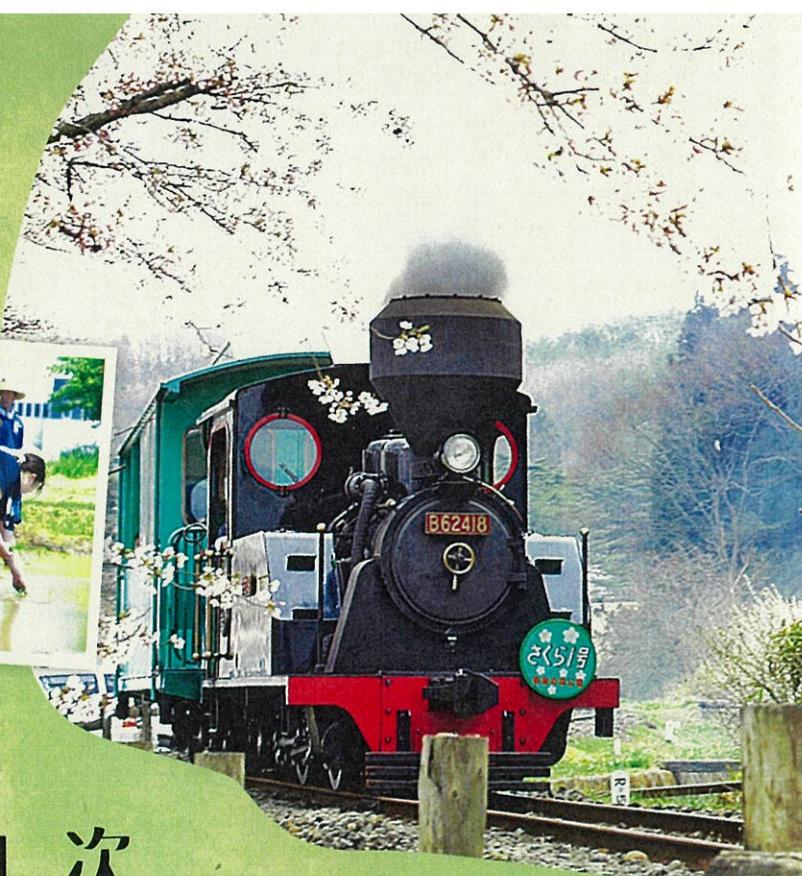


福島県伊達市  
Let's 農業



夢をかなえるためのガイドブック



## 目次

伊達市のあれこれ！	2
伊達市の一年	3
農業を始める前に	4
伊達市のオイシイもの!!	5・6
先輩農家のインタビュー	7・8
伊達市の新規就農者等支援事業一覧	9
新規就農 適正・準備チェックシート	10
アクセスマップ／お問合わせ窓口	11

# 伊達市のあれこれ！

いだてし  
市

福島県

伊達市って  
どんな所？

市章は伊達の  
歴史・伝統を象徴する  
弦月と兜がモチーフに！



福島県は、会津地方・中通り・浜通りの3つのエリアに分かれており、伊達市は中通りの北部で宮城県との県境に位置しています。三方を山に囲まれた盆地であり、夏は暑く冬は氷点下になるほど寒くなり、この寒暖差のある気候が伊達市の農作物の生育を支えています。また、戦国大名「伊達政宗」で有名な伊達氏発祥の地としても知られており、政宗が実際に戦勝祈願を行った梁川八幡神社など、貴重な史跡が市内のあるあちこちに。当時から残る史跡を歩けば、戦国の世にタイムスリップしたかのような気分が味わえます。



面積

265.12km<sup>2</sup>

地形は阿武隈川流域に広がる福島盆地に含まれる平坦地と、靈山を含む阿武隈山系の山々が連なる山間地に分けられ、面積の約65%を農地と森林が占めています。



人口

約6万人

(令和2年6月現在)

男女の比率は約半々で、生産年齢人口は全体の約55%を占め、65歳以上のいわゆる高齢者の人口は全体の約35%となっています。



世帯数

約2.2万世帯

(令和2年6月現在)

世帯数は増加傾向にあり、地域別には保原地域が一番多く、次いで梁川地域、伊達地域、靈山地域、月館地域の順となっています。

# 伊達市の一年

## 花々咲き誇る 春



市内各地に桜の名所があり、春は一斉にサクラが咲き競います。サクラが散り始め、モモの花が咲き始めるとモモ畠はピンク色に染まり、まさに桃源郷と呼ぶのにふさわしい景色が広がります。

### 【春の花々】

サクラ、モモ、ポピー、フジ

### 【平均気温（およそ）】

3月：6.8°C、4月：13.0°C、5月：17.2°C

## 四季それぞれの魅力が溢れる場所

## 縁まぶしい 夏



初夏から梅雨にかけては、アジサイが市内のあちこちでいきいきと輝き咲いています。梁川地域と月館地域の一部地区では、市民が丹精を込めて育てており、7月にはイベントを開催しています。

### 【夏の花々】

アジサイ、ヤマユリ、バラ

### 【平均気温（およそ）】

6月：21.0°C、7月：26.9°C、8月：25.6°C

## 紅葉映える 秋

伊達市のシンボル的存在の靈山は四季折々の表情を見せてくれます。特に秋は紅葉が美しく錦秋に染まる山が見事で、紅葉を愛でながらトレッキングを楽しむ人が多く訪れます。

### 【秋の花々】

コスモス、ヒガンバナ

### 【平均気温（およそ）】

9月：20.5°C、10月：15.3°C、11月：9.4°C

## 空気が澄む 冬



空気が澄む

マイナスの気温になることもありますが積雪は少なく、東北地方としては生活しやすいところです。晚秋から初冬にかけ特産品の「あんぽ柿」がシーズンを迎え、オレンジ色の柿のれんが冬を彩ります。

### 【冬の花々】

フクジュソウ

### 【平均気温（およそ）】

12月：3.7°C、1月：0.8°C、2月：1.0°C

## 靈山（新緑：5月中旬／紅葉：10月下旬～11月上旬）



東北の秀峰として有名な靈山は、国の史跡名勝及び県立自然公園に指定されています。平安初期（859年）に慈覚大師により開山され、以来480年余南奥文化の中心として栄えました。また、南北朝期には、南朝の忠臣・北畠頼家が義良親王を奉じて靈山城に陸奥の国府を移しました。

## 薬師堂（サクラの見ごろ：4月上旬）



文化4（1807）年に再建された市指定文化財。堂の向拝下にある龍や象などの彫刻が見事です。境内にはソメイヨシノやシダレザクラなど約50本のサクラが植えられ、市内で一番早く開花するといわれるサクラの名所でもあります。

## つつこ引き祭り（開催日：毎年3月第1日曜日）



つつことは祭りに使われる大俵のことと、つつこの中にはふかしたもち米が入れられており、それが餅に変わるほど激しく引き合います。江戸時代中期に大飢饉があり、当時の領主・松平通春公が領民に種もみを与えたところ、翌年大豊作となつたことから始まったと言われています。

## ニット（春・秋にフェア開催）



実は日本有数のニット産地である伊達市。ニットフェアでは高品質のニット製品や毛糸が産地価格で提供されます。市内だけでなく福島空港など県内各地でもフェアを開催しています。

伊達市のみどころ

# 農業を始める前に

## いろんな農業経営



複数の作物を栽培する経営のことを行います。必要な機械が増えるなど初期の設備投資が大きくなります。天候不順や病害などで凶作になった場合の打撃は大きいです。

売上のほとんどを一つの作物が占める経営をいいます。必要な機械や技術は少ないですが、天候不順や病害などで凶作になった場合の打撃は大きいです。



ビニールハウスなどで作物を栽培する方法です。作物に最も適した環境を人工的に作り、旬や他の産地と出荷時期をずらして栽培を行います。小さい面積で高収益を見込めますが、設備投資が大きくなります。

## 就農形態

### 雇用就農

法人農家や個人農家に、従業員として就職する方法。毎月決まった給料をもらって働きながら、先輩農家から様々な技術・知識を身につけることができます。働きながら学べるので就農初心者にも人気です。雇用就農を経て独立就農をする方も多いですよ。

### 独立就農

自分で農地や機械などを確保して、農家の主として事業を興す（起業する）こと。土地や初期費用は掛かるものの、自分の采配で営農できるという魅力があります。「農地」「資金」「技術」の確保に苦労はしますが、志のある方をしっかりサポートするのでまずはご相談ください。

## 就農者への支援

2019年度より新規就農者支援制度を充実させ、これまで以上に新たに農業を始める方への支援制度を整え、移住者向けや新規就農者向けの支援を新設しています。中でも注目すべきは、移住して農業を始めた方への手厚い補助。月々の家賃補助や生活支援が充実しているため、「移住して農業を始めたが、なかなか一步を踏み出すことができない」という方を後押しします。さらに、他の市町村ではあまり見ない、定年退職して本格的に農業を行う方が利用できる支援制度も揃えています。



## 独立就農までの流れ（モデルケース）

### 情報収集

市や県・JAの相談窓口、先輩農家、Webなどから情報を収集する

### 体験・短期研修

先進農家や公的研修期間での体験に参加。農業を行う適性チェックや、理想と現実の違いなどを学ぶ

### 長期研修

農業法人や公的研修期間で雇用就農・長期研修を行い、知識・技術を習得する

### 就農計画作成

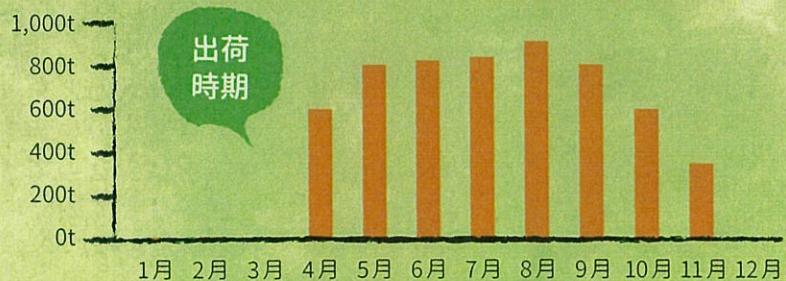
規模・生産方式の目標や、収支に関する計画を作成する

### 生産基盤の確保

農地、機械、営農資金、住宅などを確保する

独立就農

# 伊達市のオイシイもの!!



伊達市は、夏秋キュウリの出荷量全国1位（2017年作物統計調査／農水省）を誇ります。露地栽培とハウス栽培を組み合わせて、4月上旬～11月下旬まで栽培されています。豊かな大地に育まれたキュウリは、みずみずしく、旨味が詰まっています。栽培方法は、地域の方が教えてくれるなど、サポート体制は万全。出荷体制も整っているので、生産した分だけ販売ができ、収入源をしっかりと確保できます。

## おいしい! 食べ方コラム

1本丸ごと漬けたキュウリを割り箸などに刺した「キュウリの一本漬け」。お祭りやイベントでよく見かけます。夏はキンキンに冷やしてボリボリ食べるのが最高に美味しい！キュウリは水分とカリウムを多く含んでいるのが特徴で、熱中症予防にもいいらしいですよ。

10aあたりの経営指標：生産量15,000kg、販売額400万円、所得190万円、労働時間1,190h ※雨よけ・無加温  
必要資本：パイプハウス一式／動力噴霧機／管理機／自走式防除機

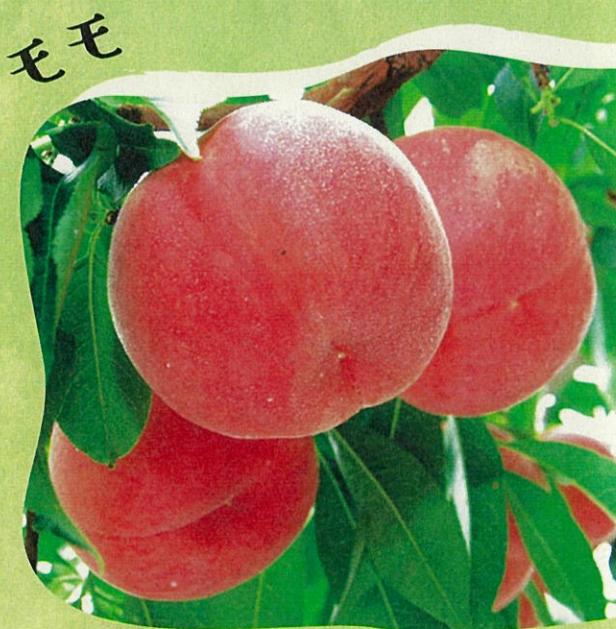


福島県はモモの生産地としても有名ですが、豊かな自然と有機質中心の肥料によって育った、甘くて弾力のある伊達市のモモは全国的に人気です。その中でも、一番有名な品種は『あかつき』。糖度が高い上に、とろけるような口当たりを楽しむことができます。また、伊達市で育つモモの中でも、旬が比較的遅いのが『川中島白桃』。これは、甘く固めのモモが好きな方におすすめです。

## おいしい! 食べ方コラム

モモは冷やしておくと甘味が落ちてしまうため、常温保存がおすすめです。冷たいモモを食べたい時は常温で甘味を引き出してから、食べる少し前に冷やすのが美味しい食べるコツです。硬いモモ、柔らかいモモ、そのまま食べる、冷やして食べる、好みは人それぞれですね。

10aあたりの経営指標：生産量2,000kg、販売額70万円、所得30万円、労働時間220h（あかつき）  
必要資本：スピードスプレイヤー／高所作業車／乗用草刈機



伊達市は、オイシイ野菜や果物の王国。たくさんの種類がありますが、ここでは代表的な4種を紹介。ぜひ、就農

時の作物選定の参考にしてください。地元ならではの、味わい方もチェックしてくださいね。

## イチゴ



旬は3~4月上旬のイチゴ。伊達市では、クリスマスシーズンの12月から6月上旬まで栽培しています。伊達市で生産している品種は『とちおとめ』『さちのか』など。日照時間が少なく、開花から収穫まで多くの時間をかけて熟成するので、味は濃厚。ビタミンCが多く含まれているので、風邪予防や美肌効果があります。水洗いすると栄養素が流れ出ることもあり、軽く洗い流すのが◎。

## おいしい! 食べ方コラム

イチゴは、スイーツによく使われたり、ジャムなどの加工品になったりするイメージがありますね。牛乳と砂糖をかけて食べることもありますが、潰しながら食べるとイチゴ牛乳になり、最後に飲み干すのも美味しいです。でも、やっぱりそのまま食べるのがイチバンかも!?

10aあたりの経営指標：生産量4,000kg、販売額400万円、所得190万円、労働時間1,590h (とちおとめ)  
必要資本：パイプハウス一式／暖房機／畝立機／トラクター／動力噴霧機

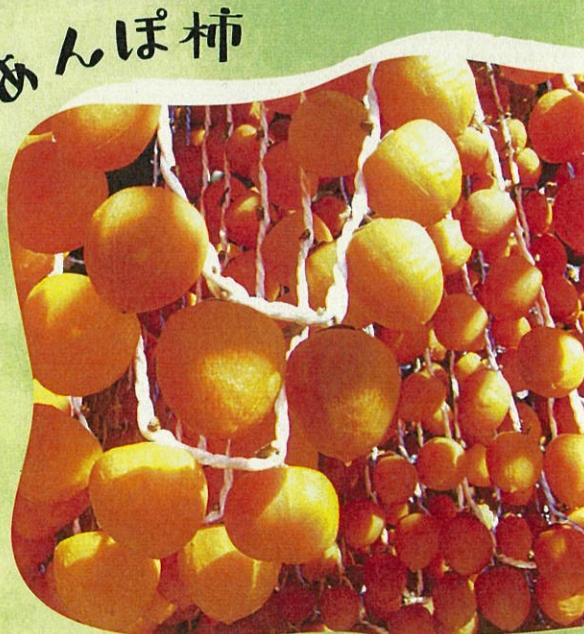


福島県の特産品の一つであるあんぽ柿は、福島県伊達市梁川町にある五十沢（いさざわ）地区で作られたことが始まります。収穫した柿は、例年10月下旬頃から皮をむき、連（れん）にします。酸化による変色を防ぐため、硫黄燻蒸した後、天日で干します。つやのあるきれいなアメ色でやわらかく、とろりとした舌触りと濃厚な甘みが特徴です。ビタミンA、カルシウム、食物繊維などを多く含んでいます。

## おいしい! 食べ方コラム

自然の甘さをたっぷり味わえるあんぽ柿は、天然の和菓子と称され、そのまま美味しく食べるのが定番ですが、ちょっと味を変えて食べたいという方は「あんぽのしそ巻き」はいかがでしょうか。伊達地方に伝わる郷土料理であり、あんぽ柿を塩漬けしたシソで巻いたもので、お茶請けとして食べられています。

10aあたりの経営指標：生産量490kg（加工後重量）、販売額60万円、所得40万円、労働時間210h ※生産+あんぽ加工  
必要資本：スピードスプレイヤー／高所作業車／乗用草刈機／カキ干場一式／乾燥機



# 先輩農家の インタビュー

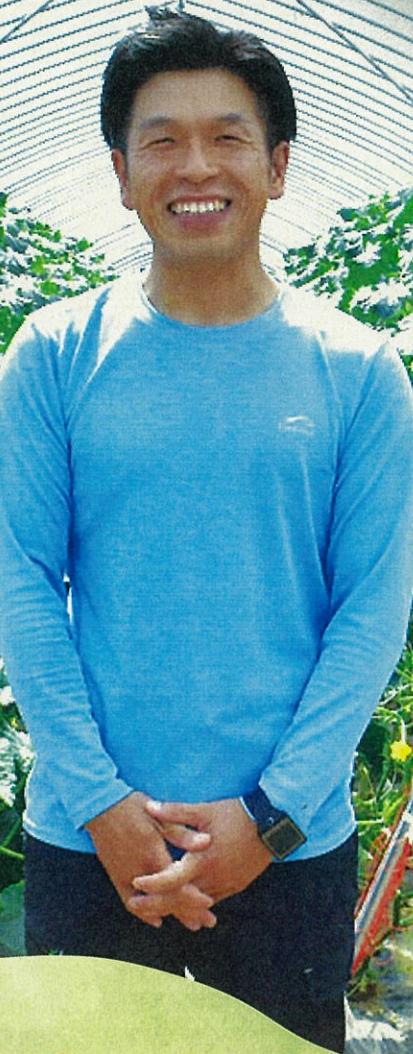
## 野菜部門！

須田 浩崇さん

2017年就農

### IT企業から、キュウリ農家に転身

以前は県外でIT企業に勤務していましたが、昨年地元の伊達市で就農した須田さん。農地中間管理機構から農地を借り受けて、自分でハウスや農機具を揃えました。「伊達市はキュウリ作りに適しています。昨年初めての収穫だったのですが、4.7t出荷でき、少し安心しました」と、須田さんは話します。キュウリは作付けした年から収穫ができ、気候や井戸の掘りやすさなどから見ても、伊達市で新たに就農する方にはおすすめの作物だそうです。



作物→キュウリ

### 就農して、心身ともに健康になった

須田さんの今後の目標は「まずは安定して生産を行うこと」。昨年初めてキュウリを収穫し、反省点もたくさん出てきたそうです。「会社勤めの時に経験したPDCAサイクルを自分一人でやっている感じです。今年はネットの張り方をこう変えたいとか、さまざまな課題や目標があって、とてもやりがいがあります」と話してくれました。最後に、就農して良かったことを伺うと「心身ともに健康になったこと」と、即座に明るい笑顔で答えてくれました。

#### Q. 新規就農者へのアドバイス

A. 各種支援に申請してから正式に採択されるまで2ヶ月間程かかります。それを見込んで動きを早めにしてくださいね。申請が通らないと、栽培開始時期が後ろ倒しになり収穫量にも影響がでてしまいます。

#### Q. お休みの過ごし方

A. キュウリの場合、冬（12月以降）は休作します。今年は、三重県の伊勢神宮まで旅行をしてリフレッシュしてきました。また冬にピークを迎える「あんぽ柿」生産のお手伝いなども積極的にしています。

#### Q. 農家のやりがい

A. 自分で工夫して、収穫量があがると嬉しいですね。収穫時の体への負担を考え、なるべく上部に実がなるように摘芯をする等いろいろ試しています。先輩農家や農協の方からの情報も参考にしています。



## 花部門！

菅野 健司さん

2016年就農

### 祖父母が導いた「農業」への道

菅野さんの祖父母は、野菜・米の栽培や畜産を営む農家です。幼い頃から祖父母の畑で土いじりや収穫作業を手伝い、農業が日常にある毎日を過ごしていました。一度は大学へ進学した菅野さんでしたが「やっぱり農業が好き」という自分の気持ちに気づき、一念発起して農業学校に通うことを決意。農業学校でこれまで未知の世界であった『花づくり』に魅了され、花農家としてスタートを切ります。現在、就農3年目。日々、試行錯誤しながら奮闘中です！

### 手がかかるだけ、愛おしい

6月はトルコギキョウのシーズン。白やピンクの花々が咲き誇り、ハウスの中は芳醇な香りでいっぱい！「花の栽培は手が掛かりますが、その分だけ応えてくれる。それが何よりの魅力です」と愛おしく手入れを行う菅野さん。花卉（観賞用の草花）は、太陽の光と美味しい水が大好き。特に井戸水が生育のためには良いとされている。伊達市は井戸水が豊富で、少し掘ると水脈にあたります。実は、花卉の生育にはうってつけの土地なんですよ。

### Q. 新規就農者へのアドバイス

A. 出荷先には様々なルートがあり、どこに出荷するかにより栽培スケジュールが変わります。先輩農家さんからアドバイスをもらい、新規就農時に出荷ルートまでイメージしておくと販売本数を伸ばせますよ。

### Q. お休みの過ごし方

A. 11月以降の休みの時期に水管システムを自作しました。Web上に公開されているソフトウェアを活用しながら色々試しています。花の品質を上げるために栽培期間は長め。正月明けには栽培再開です。

### Q. 想像と違った事

A. 農業学校で学んだため知識はあると思っていたが、実際に自分ひとりの責任で行うと判断に困ることがあり知識の無さを痛感。一から十まですべて自分で行うということは、学校の研修とは違いますね。

# 伊達市の新規就農者等支援事業一覧

支援事業	支援対象	支援内容	主な要件等
1 農地賃借料補助	認定新規就農者・就農してから3年未満の認定農業者	賃借料合計1/2以内で年間上限5万円かつ10aあたり上限1万円を最長5年間補助	▪ 農地所有者が3親等以内の親族以外 ▪ 賃借期間5年以上のもの
2 農業機械・施設整備補助	認定新規就農者	購入本体価格の30%以内で上限50万円補助	▪ 本体価格50万円以上の機械及び施設 ▪ 50歳未満 ▪ 同一年度1回
3 移住就農者家賃補助	認定新規就農者 農の雇用事業の法人等就農研修生	月額家賃の1/2(上限3万円)を最長2年間補助	▪ 移住3年以内 ▪ 50歳未満 ▪ 3親等以内親族所有の住宅以外(市営住宅以外) ▪ 農業次世代人材投資資金の経営開始型要件が満たされる月の前月まで
4 移住就農者生活支援	認定新規就農者	月6万円を最長2年間支給(夫婦で就農の場合月8万円) ※加算:配偶者・子 月1万円(18歳未満、上限2万円)	▪ 移住3年以内 ▪ 50歳未満 ▪ 農業次世代人材投資資金の経営開始型要件が満たされる月の前月まで
5 農業後継者就農支援	農業後継者・定年退職者・脱サラした者で認定農業者	月3万円(夫婦で就農要件合致の場合月5万円)を1年間支給 ※加算:配偶者・子 月1万円(18歳未満、上限2万円)	▪ 就農してから3年未満従事 ▪ 共同経営時は家族経営協定を締結 ▪ 本人が認定農業者として認定
6 認定農業者農業機械購入補助	認定農業者	購入本体価格の30%以内で上限50万円補助	▪ 本体価格50万円以上の機械 ▪ 3戸以上の農家で構成 ▪ 軽トラック対象外
7 認定農業者等大型特殊免許取得補助	認定農業者 認定新規就農者	免許取得費用の50%以内で上限5万円補助	▪ 既に農業経営を開始している ▪ 年間200日以上農業に従事
8 農業次世代人材投資事業(経営開始型)※国制度	認定新規就農者	年間最大150万円を最長5年間支給	▪ 所得制限あり ▪ 50歳未満で独立・自営就農している
9 農業次世代人材投資事業(準備型)※国制度	指定研修機関等研修生	年間最大150万円を最長2年間支給	▪ 研修後1年内に就農 ▪ 50歳未満で就農すること
10 青年等就農資金※国制度	認定新規就農者	経営に必要な資金を無利子で貸し付け	▪ 認定新規就農者であること ▪ 返済期間12年以内 ▪ 借入限度額3,700万円



## 伊達市就農支援制度 簡易フロー

※支援制度を利用するには、さらに細かい要件を満たす必要があります  
※「該当なし」の場合でも、その他の支援に該当する場合があります

該当する支援





# 新規就農 適正・準備 チェックシート

このチェックシートは、農業で生計を立てることを前提として、新規就農にあたっての適性や知識、準備の進み具合を自分自身でチェックするものです。現時点で当てはまらない項目は、これから就農を目指す場合に準備や習得が必要な項目であるとお考え下さい。

## 1. 就農に対する適性

- 健康・体力に自信がある (繁忙期には休みがない場合もあります)
- 人の付き合いは嫌いじゃない (生産物の販売など、人の付き合いは重要です)
- 動植物が好き (農業は生き物相手の仕事です。また、農村では虫なども多く発生します)
- 事務作業より野外で体を動かすことが好き (農業のほとんどは野外作業です。日焼けもします)
- 単純作業がコツコツできる (単純作業の繰り返しを丁寧に手早く行うことが求められます)
- 忍耐力がある (農業はすぐに成果が出ないことがほとんどです)

## 2. 新規就農についての意欲、動機、知識

- 農業所得で生活でき、職業としての農業を目指している
- 新規就農した経営者に会って、体験談を聞いたことがある
- これまでの農業体験や研修等で農作業の厳しさを知っている  
(理想と現実のギャップが理由で離農する方が多くなっています)
- 農業は自然災害や技術不足のため収穫が皆無(無収入)となる場合があることを知っている



## 3. 新規就農の事前準備状況

- 新規就農に関する情報収集を積極的に行っている
- どんな作物を作るか(作目選択)、どこで農業をやるか(就農希望地)が決まっている
- 栽培する作物について必要な労働力や機械、一人当たりの栽培面積の限界を知っている
- 実際の就農までの準備事項や段取りはほとんど理解している  
(技術の習得、資金・農地・機械・住宅の確保が重要です。具体的で実現可能な就農計画の作成も必要です)
- 家族が就農に同意している (農業への協力のほか、家族の農外収入に頼らなければならない場合もあります)
- 自動車運転免許(普通免許以上)を持っている (出荷や農機具の運搬に軽トラックは必須です)

## 4. 就農条件の準備状況

- 先進的農家や研修施設等で研修を受け(または研修中)、目指す農業の技術と知識は身に着けた
- 就農希望地での就農にあたり、親身になって相談にのってくれる人がいる
- 農地の取得(購入・借入)には、法律(農地法等)に基づいた許可と手続きが必要であることを知っている
- 営農・生活するために必要な自己資金がある(金額 万円)  
(福島県の新規参入者は、平均 650 万円の自己資金を準備しています)
- 自己資金が足りず融資制度を利用する際、保証人になってくれる人がいる
- 経営収支計画を作成できる (売り上げと経費がどの程度になるかなど、自分で考える力が必要です)
- 経営についての知識(複式簿記等)がある (確定申告に関する知識は必須です。帳簿の記帳・保存は義務です)
- 農産物の販売方法や販売先の計画がある

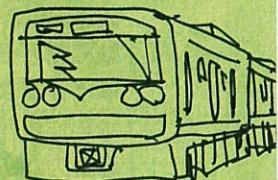
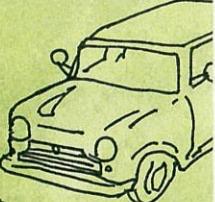
## 5. 農村生活・就農後の生活について

- 営農資金のほかに当面の生活資金(1~2年程度)がある
- 農業をするには、住居がアパートなどでは難しいことを知っている  
(農機具等を保管する倉庫や作業場が必要です。なお、農地に無断で倉庫等を設置することは認められません)
- 農地と住居が離れていると作業が不便であることを知っている  
(適時、適切な栽培管理をするためには、できるだけ農地に近い住宅が良いです)
- 農村の生活では、地域とのコミュニケーションや共同作業への参加が重要であることを知っている



# ACCESS MAP アクセスマップ

こちらを目安に伊達市へお越しください



## 自動車

- 【東北自動車道】国見IC・福島飯坂IC（約20分）
- 【相馬福島道路】靈山IC（約10分）

## 新幹線

- 【東北新幹線】東京↔福島（約1時間30分）

## 電 車

- JR福島駅から阿武隈急行保原駅（約20分）

就農に関する  
情報収集は…



などを  
有効活用！

## 就農に関するお問い合わせ窓口

福島県伊達市 産業部農政課 農業担い手係 TEL:024-573-5635  
〒960-0692 福島県伊達市保原町字舟橋180番地 FAX:024-573-5865  
E-mail : nousei@city.fukushima-date.lg.jp



## その他・農業に関するお問い合わせ窓口

福島県県北農林事務所 伊達農業普及所  
TEL:024-575-3181 / FAX:024-575-3064

JA ふくしま未来 伊達地区本部 指導販売課（栽培技術に関する相談等）  
TEL:024-575-0112 / FAX:024-575-1796

JA ふくしま未来 伊達地区本部 農業振興課（農地の賃借に関する相談等）  
TEL:024-575-0114 / FAX:024-575-1796